

文部科学省 ナノテクノロジープラットフォーム
平成29年度 研究設備の試行的利用課題募集要項

平成29年3月1日

ナノテクノロジープラットフォームセンター
(センター運営機関：物質・材料研究機構、科学技術振興機構)

1. 趣旨

(1) 文部科学省ナノテクノロジープラットフォームについて

文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム事業(NPJ)は、ナノテクノロジー研究開発に関わる全国26の大学・研究機関がネットワークを組み、その保有する最先端設備を広く外部へ共用するための一体的な運営体制を構築することにより、企業、大学、研究機関等の幅広い研究者・技術者に対して最先端設備の利用機会と高度な技術支援を提供する文部科学省の委託事業です。これらの先端的研究設備を一般の研究者・技術者に広く利用いただくことを通じて、ナノテクノロジー・材料分野などでの領域を越えた新しい技術の創出や、産業界の課題解決につながる成果をもたらすことを目的としております。このため、①最先端の電子顕微鏡、放射光、強磁場NMRなど微細構造の解析技術、②金属・半導体・セラミックスなどへのナノレベルの微細な構造を造り込む微細加工技術、③新規の無機・有機材料の合成・評価を支援する分子・物質合成の各分野で支援を行っています。

(2) 「試行的利用」事業について

ナノテクノロジープラットフォームセンター(運営：物質・材料研究機構、科学技術振興機構)では、NPJにおける先端的研究設備を産業界や若手研究者を含め、より多くの方に積極的に利用いただくことを目的として、イノベーション創出のための新しい芽の発掘や今後の研究・開発の進展を期待し得る課題に対して支援を行う「試行的利用」事業を行います。

2. 応募の要件

国内の機関に所属している研究者・技術者に於いて、自らが主体的に発案した研究課題を応募するにあたり、申請に係る内容を実施できる体制が確保されていること。「機関」とは企業、大学、独立行政法人、国立研究開発法人、国公立試験研究機関、特別認可法人および公益法人等を指す。

本「試行的利用」は、NPJを必要とする潜在ユーザーの利用促進が目的であることに鑑み、これまでNPJやそれに類する事業において共用設備を利用したことの無い研究者・技術者に対して利用の初期的機会を提供します(Type1)。また、利用者がNPJ活用の模範となる秀でた成果を生み出すことを目的のひとつとします(Type2,3)。

企業の研究者・技術者、産学/産官連携体制のもとでの応募、アイデアはあるが装置・資金が不足している若手研究者(平成29年4月1日現在39歳以下)や女性研究者からの応募を歓迎します。

3. 支援内容

NPJに登録されている共用設備の試行的利用に伴い必要となる経費(利用料、日当を除く旅費、その他利用に当たって必要となる消耗品等)について支援します。詳細は、4.募集の種類と要件を参照のこと。

【支援の対象となる消耗品の考え方】(下記①②を満足すること。)

① 利用装置側で必要となる原材料・部材で、実施機関が準備出来ない理由があるもの。② 対象装置利用にあたって必要となる物品のうち、利用者が持ち込むべき物。但し、研究対象物を含まない。

4. 募集の種類と要件

種類	要件	主旨・募集対象	支援内容	その他応募条件・補足	件数・申請締切
Type 1 (一般・新規)		広く一般の研究者・技術者のはじめての利用を促す。	・利用料、旅費 (消耗品は対象外) ・支援上限額: 15万円/件	(1)利用者全員に平成26年4月以降のNPJ利用実績がないこと。(2)毎月募集予定。	・採択予定: 25件 ・締切 平成29年 3月22日、及び 4~10月の毎月 第3水曜日 (登録・発番締切: 申請2週間前)
追加募集 (Type 1)		同上	同上	(1)利用者全員に平成26年4月以降のNPJ利用実績がないこと。	・採択予定: 若干数 ・締切 平成29年 11月17日(金) (登録・発番締切: 11月1日(水))
Type 2 (若手・女性)		アイデアはあるが研究開発資金に不足する若手・女性研究者/技術者を対象とし、外部資金獲得につながる利用成果創出を狙う。	・利用料、旅費、7万円迄の消耗品 ・支援上限額: 15万円/件	(1)応募申請者の年齢(平成29年4月1日で39歳以下)、および性別に抛り該非を判断する。(2)応募時点までの外部資金受給状況と今後の外部資金獲得計画を明記すること。(3)2回に分けて募集。	・採択予定: 20件 ・締切日 6月 7日(水) 10月 4日(水) (登録・発番締切: 申請2週間前)
追加募集 (Type 2)		同上	同上	(1)応募申請者の年齢(平成29年4月1日で39歳以下)、および性別に抛り該非を判断する。(2)応募時点までの外部資金受給状況と今後の外部資金獲得計画を明記すること。	・採択予定: 若干数 ・締切日 11月29日(水) (登録・発番締切: 11月15日(水))
Type 3 (成果産業化)		原則「共同研究型支援」の利用形態であって、NPJの活用を通じた実用化が期待できる成果、顕著な学術的成果が期待できること。利用機関との共同研究契約、外部資金獲得に繋がることを狙う。	Type 3A ・支援上限額: 50万円/件 (消耗品費は半額迄) Type 3B ・支援上限額: 20万円/件 (消耗品費は半額迄)	(1)Type 3Aについては、利用する実施機関の推薦が必要。各実施機関は優れた成果に繋がると見込むテーマ一件に限って推薦できる。過去に共同研究等の研究資金授受がないこと。(2)大学、研究機関単独でも応募できるが、実用化への道筋を明記すること。(3)NPJに抛る支援効果が高く、近い将来での成果が期待できる課題を優先する。	・採択予定 Type 3A: 5件 Type 3B: 5件 ・締切日 8月 2日(水) (登録・発番締切: 申請2週間前)

その他の注意事項

- 【Type1】・はじめての利用であれば、申請者(利用者)の年齢、性別、所属等に関係なく応募できます。
・早く採択予定件数に達した場合は、10月以前に募集を打ち切ることがあります。
- 【Type2】・利用経験者も応募できますが、利用実績のない申請者を優先します。
また、過去の申請との差異、進展した内容を具体的に記述してください。
・外部資金獲得状況と共に、本事業に抛る支援が必要な理由を記入してください。
- 【Type3】・Type 3 は企業に抛る応募を歓迎します。また、利用経験者も応募できます。
・Type 3A 申請者の所属機関と同じ機関からの推薦は受け付けません。
・Type 3B に推薦状は必要ありません。
- 【共通】・筆頭の申請者は研究テーマを主体的に発案・推進する立場であることが必須要件です。
・複数名で利用実施することもできますが、予め実施計画書へ全員を記載していただきます。
・異なる申請者でも、同一研究グループと見做せる応募については、相応に取り扱います。
・ひとつの応募のなかで複数の実施機関を利用する場合は、その理由を明記すると共に、枝番号を付けた個別の実施計画書を作成していただきます。
・旅費については、物質・材料研究機構の規定に基づき、出発地から利用機関の所在地までの交通費(実費ベース)と宿泊費を支給します。日当は除きます。
・申請締切日の2週間前までに、事前登録を済ませ、発番を受けてください。
・申請者と利用する実施機関との間で、既に共同研究等による研究開発資金の受け渡しがある場合は、その状況を説明していただきます。
・文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム(NPJ)の関係者は、応募者(利用者)となることはできません。・採択予定数を下回るなどの状況に抛っては、追加募集することがあります。

5. 応募手続

(1) 事前登録、事前相談（随時受付）

まず申請前に「**事前登録**」を済ませ、発番を受けてください（原則申請締切日の2週間前迄）。

ホームページ(<http://nanonet.mext.go.jp/shikou/h29/>)より事前登録用紙（Excel ファイル）をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記(3)宛先まで e-mail で提出して下さい。

利用する実施機関や装置が決まっていなくても随時受け付けます。事前相談も受け付けておりますので、「8. 問い合わせ先」の産学官連携推進マネージャーまで気軽にお問い合わせ下さい。

(2) 「実施計画書」作成と提出（申請締め切り日厳守）

事前登録受け付け後、折り返し発番通知メールを発信します。同時に実施計画書用紙（Excel と Word ファイル）を添付しますので、必要事項を記入の上、締切日までに下記(3)宛 e-mail で提出して下さい。

(3) 提出先

事前登録、実施計画書ともに次のアドレス宛、e-mail にて提出してください。PDF 等へ変換せず、原ファイル形式のまま、送付願います。

提出先アドレス： npj-shikou 【ad】 ml.nims.go.jp （【ad】を@へ変換のこと）

6. 応募後の選考について

(1) 選考方法

申請内容等の選考は、ナノテクノロジープラットフォームセンターの試行的利用選定委員会が行います（非公開）。審査方法は提出された「**実施計画書**」を対象とする書類選考で、本要項の「1. 趣旨」「2. 応募の要件」及び「4. 募集の種類と要件」に記載した観点に基づき採択決定します。

(2) スケジュール

1) 選考結果の通知

選考結果を e-mail 等にて対象の応募者へ内示します。（更に遅れる場合は別途通知）

【Type 1】 該当の実施計画書締め切り日から1~2週間後を目安に通知します。

【Type 2, 3】 実施計画書締め切り日から3週間後を目安に通知します。

・選考結果はナノテクノロジープラットフォームホームページ (<http://nanonet.mext.go.jp/>) に公開されます。（公開情報：採択課題名、所属機関、実施機関名）

2) 実施（利用）期間

採択通知（内示）日から6か月後、または平成30年2月末の何れか早い日までに終了する実施計画としてください。また、実施機関が受け入れ可能な期日に限ります。著しい日程の遅れは、計画変更申請手続きが必要となります。

3) 報告書の作成

終了後、実施機関が指定する利用報告書を下記アドレス宛提出してください。受領後 Web 公開される予定です。（提出先 e-mail： npj-shikou 【ad】 ml.nims.go.jp ）

4) 順守事項

本事業の実施を規定する文書は、申請時の「実施計画書」と採択後に配布する「実施要領」です。それらに従って、採択内示後の実施機関との調整・予約結果を反映した「実施登録書」等を提出して頂きます。これらの内容から逸脱の可能性が生じた場合は、速やかに事務局または産学官連携推進マネージャー（8. 問い合わせ先 参照）へご相談ください。

7. 個人情報の取扱いと秘密保持

応募に関連して提供された個人情報については、個人情報の保護に関する法律及び関係法令を遵守し、下記各項目の目的にのみ利用する。

- ・選考及び選考に係る事務連絡、通知等
- ・選考後、採択された方については引き続き利用に係る事務連絡
- ・文部科学省ナノテクノロジープラットフォームに係るセミナー、シンポジウム等の案内

また、選考に関わった選定委員等の関係者は、一連の過程で取得した一切の応募情報をその職にある期間だけでなく、その職を退いた後についても第三者に漏洩しないこと、情報を善良な管理者の注意義務を持って管理すること等の秘密保持を遵守することが義務づけられている。

8. 問い合わせ先

NPJ 施設利用に関する事前相談窓口

国立研究開発法人 科学技術振興機構 産学官連携推進マネージャー
電話： 03-6272-4732 e-mail： npj_jstmgr【ad】nanonet.go.jp
4752

公募に関する問い合わせ先

国立研究開発法人 物質・材料研究機構 試行的利用事務局
電話： 029-859-2777 e-mail： npj-shikou【ad】ml.nims.go.jp

[注] **実施機関**（本事業で利用可能な装置・施設を提供している機関）

ナノテクノロジープラットフォームは、ナノテクノロジー関連科学技術において基本となる以下の技術領域に応じて、企業、大学、研究機関等の幅広い研究者・技術者に対して最先端設備の利用機会と高度な技術支援を提供する機関で構成されます。

（実施機関と利用可能な装置・施設の詳細はナノテクノロジープラットフォーム Web ページを参照してください。 <http://nanonet.mext.go.jp/> 装置検索サイト：<http://nanonet.mext.go.jp/yp/>）

微細構造解析 プラットフォーム (11 機関)	北海道大学、東北大学、物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、 東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、日本原子力研究開発機構、 量子科学技術研究開発機構、九州大学
微細加工 プラットフォーム (16 機関)	北海道大学、東北大学、筑波大学、物質・材料研究機構、産業技術総合研究所、 東京大学、東京工業大学、早稲田大学、名古屋大学、豊田工業大学、京都大学、 大阪大学、広島大学、香川大学、山口大学、北九州産業学術推進機構
分子・物質合成 プラットフォーム (11 機関)	千歳科学技術大学、東北大学、物質・材料研究機構、北陸先端科学技術大学院大学、 信州大学、名古屋大学、名古屋工業大学、自然科学研究機構分子科学研究所、 大阪大学、奈良先端科学技術大学院大学、九州大学

以上